

## フラワータウン地区の活性化に向けた 新商業施設へのフラワータウン市民センターの移転について

本市は、令和6年12月25日付でイオンリテール(株)及び(株)北摂コミュニティ開発センターとの三者間でフラワータウン活性化に関する基本合意を締結しました。

将来求められる公共公益機能の検討やフラワータウンセンター地区の機能再配置を視野に、イオンリテール(株)が整備予定の商業施設へ市民センター機能を含む公共施設の開設を申し入れ、イオンリテール(株)からも進める方向で回答(令和7年3月)いただいたことから具体的な協議を進めてきたところです。

このたび、一定の協議が整ったことから、現時点での協議内容を報告するとともに、あわせて国の交付金を活用するための手続きに着手することを報告いたします。

### 1. イオンリテール(株)との協議内容

- ①市はイオンリテール(株)が計画する新商業施設内に公共施設を整備します。  
購買活動と地域活動等のクロスオーバーにより、賑わいの更なる創出と活性化を目指します。
- ②市が公共施設を整備することにより、(同社の当初計画から比して)増える建設費用は市が負担します。
- ③新商業施設の3階部分に公共施設区画を設けて賃借します。
- ④新商業施設のオープンに合わせて、市は公共施設の移転を計画します。  
具体的には、市は賃借部分の設計を令和7年度に行い、工事の時期については令和8年度を軸に同社と調整しています。
- ⑤公共施設整備にあたって、市は国の交付金(※)を活用します。  
(※)新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)国1/3  
民間事業者等(公共的団体等を除く)が所有し、かつ整備する施設等で一定の公共性・公益性を有する施設等を整備する取り組みに対し、地方公共団体が整備費の全部又は一部を補助する場合に当該補助経費について、拠点整備事業の対象となり得る

### 2. 多様なニーズに対応できる公共施設の設置

#### (1) コンセプト

新たな魅力を持ち、若者・子育て世代に選ばれるフラワータウンの創出をコンセプトに、多世代・多機能が融合し、人がつながり、共に支え、触発しあう「安心・生きがい・自己実現」をフラワータウンで実現することを目指します。

センター地区を一体的にとらえて構想エリアとし、人と自然の博物館や深田公園などセンター地区内の他施設と連携した核施設の一つとします。

## ハコから「ワクワク空間」へ

- ① 多様な使い方ができるオープンな空間
- ② 世代を問わず誰もがつどい過ごせる空間
- ③ 興味を育てる、発見がある空間



### (2) 機能

市民センター機能と多世代交流館機能の一部を新たな行政施設へ移転します。  
現在設計についての検討を進めており、詳細が決まり次第随時お伝えします。

### (3) その他

- ・市長意見交換会で出た意見は、可能な限り設計及び運営に反映していきます。
- ・ホール（250 席）の移転は、本市が負担する建設負担金及び維持管理費の大幅な増加が見込まれ、公共施設マネジメント推進の観点から難しい状況です。

### 3. 今後のスケジュール

- ・機能移転にかかる事業費については本年9月定例会で補正予算を上程させていただきたいと考えております（その際には計画の詳細を報告いたします）。